

コラム13：【言葉ではわかっているが実際には？】

【話を聞くことは難しい】

子どもにとって、一番話しかけやすい話題は、自分の好きなこと、今はまっていることについてだとすると、親が「ゲームなんてやっても意味がないと思うし、自分は好きになれない。だから、辞めさせたい。」と思っても、子どもからゲームを取りあげてしまったら、子どもとの会話は成り立ちにくくなってしまいかもしれません。

以前受けた相談で、「子どもがゲームしかしないのが嫌なので、2時間に制限しています。でもこっそりやるんですよね。だから、子どもに『〇〇してあげるからゲームはやめてね。』と、ゲームをやめさせるかわりに、他の要求にに応じてしまいます。甘やかしてはいけないと思っていますが…。」とお話するお母様がありました。

相談はオンラインでしていたので、ゲームの話をしていると、お子さんが聞きつけてやって来ました。お子さんに「どのくらいゲームできたら、満足する？」と尋ねると、「14時間かな～」と返事がありました。その後も質問を続けていくうちに、お子さん自身も、こっそりゲームするのはいけないこと、14時間はさすがにやりすぎている、と認識していることがわかりました。

もともと聞いていた「子どもは嫌がって誰とも話をしない」というお母様の言葉とは随分違い、お子さんと色々と会話をすることができました。

ゲームをする子どもを問題視する前に、どこに興味があるのか、何にはまっているのか、それはどうしてなのか、と会話を続けていけば、きっと色々と話してくれるでしょう。

その会話の中に、子どもの困っていること、自分ではどうしてよいかわからないと思っていることがきっと出てくるはずです。